

病気があっても全体として健康的な生活を送る

春のがんサロンで、「あなたの回復力は素晴らしいと主治医に言われた」とお話ししてくださった方に、皆が心からの賞賛を送りました。また、現在治療中の方のお話にあれもこれもと言いつつも、患者や家族としての同じ思いを振り返り、微力ながら支えたいと思う。そんながんサロンおおだの仲間たちです。

「病気がある」という日常も私たちの暮らしのひとつ、無理のないところで「いつもの生活」を送りたいものです。



□ 冊子の紹介 □■□■□■

「しまねのがんサポートブック」 島根県がん対策協議会

告知を受けて頭が真っ白に…、治療中の不安など、私たちにとって身近な情報を提供しています。本人と家族だけではひも解けないことについて相談し、歩み寄るうえで役立つサポートブックです。県のHP「しまねのがん対策」でもご覧になれます。



● いい本みつけた ○●○○●○

末期がんから生還した 15,000 人の経験に学ぶ 「ガンに打ち勝つ患者学」



全米ガン回復財団理事長
グレッグ・アンダーソン著
帯津 良一 監修
実業之日本社

多くの患者の経験をもとに、「がんを診断を受けた後の重苦しい問題を考える力になりたい」と書かれています。心の力、代替療法にも触れ、「回復をめざす旅は、やりがいのある人生」という言葉にどきりとしました。

鹿足郡吉賀町の

吉賀ゆめサロンからお便りを頂きました

「春の日に。ほんの近くで鳴いているのに見つけることができないのをもどかしく思いながら、「もしかして幸せというのもこれと同じかなあ」と、くだらないことを考えたりしながら、ぼーっと一点を見つめたりしています。春真っ盛りです。」

★ ☆ ★

優しい語り口でつづられた「ゆめサロン便り」を送っていただきました。

東西に長い島根では、山口や広島を含む医療圏ですが、このお便りを「しまねのがん対策」に掲載され、県外の方とも交流されています。

お知らせ

「がんサロンおおだ」定例会

6月7日(土) 10時～12時
いつものサロンですよ！

見て聞いて

「がんサロンおおだ」体験交流会

6月8日(日) 10時～13時
会場 ゆきみーる 2階ホール

- ・緩和ケアネットワーク大田から出張対談
- ・笑ってはじめてつながって 元気回復
- ・ミニランチでサロン体験